

問1 鹿児島県などの南九州地方において、農業産出額に占める畜産の割合が他の地域に比べて非常に高い理由として、地形や土壌の背景を説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2019年 福島県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|---|---|--|
| 1. リアス海岸が続く複雑な地形で耕地面積が狭いため、限られた土地で効率よく収益を上げられる畜産に特化したから。 | 2. 急峻な山地が多く、高冷地での野菜栽培が盛んであったが、連作障害を避けるために家畜を導入したから。 | 3. 季節風の影響で冬の降雪量が多く、冬の間の農作業が困難であるため、屋内で行える畜産業が選択されたから。 | 4. 火山灰が堆積してできたシラス台地は水はけが良く、稲作に不向きな土地が多かったため、広大な土地を畜産に利用したから。 |
|--|---|---|--|

問2 九州地方南部の太平洋側に位置する宮崎県において、年間降水量が3000mmを超える国内有数の多雨地域となり、かつ年間を通じて温暖な気候が形成される要因として最も適切な説明はどれですか。 (2025年 愛知県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|--|--|--|
| 1. 黒潮（日本海流）の影響で気温は高いが、周囲を高い山々に囲まれた盆地状の地形であるため、湿った空気が入り込まず降水量は少なくなる。 | 2. 寒流である親潮（千島海流）の影響により夏でも涼しく、冬にシベリア高気圧から吹き出す湿った北西の季節風の影響で降水量が多くなる。 | 3. 暖流である黒潮（日本海流）の影響を受けて温暖であり、夏から秋にかけての台風や湿った季節風の影響で降水量が多くなる。 | 4. 対馬海流の影響を受けて年間を通じて温暖だが、中国山地と四国山地に挟まれているため、年間を通じて降水量は少なくなる。 |
|---|--|--|--|

問3 沖縄県において、宿泊・飲食サービス業（8.3%）や医療・福祉（15.7%）などの第3次産業の就業者比率が、全国平均（それぞれ6.2%、12.5%）を上回っている理由や背景を説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2022年 沖縄県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 製造業の自動化が全国で最も進んだ結果、余剰となった労働力がすべて観光分野に移動したため | 2. 農林水産業に従事する就業者が不足しており、食料品を加工・提供するサービス業が唯一の産業となっているため | 3. 広大な土地を活用した自動車産業の工場誘致により、関連するサービス業の雇用が全国一となったため | 4. 豊かな自然や独自の文化を活かした観光業が盛んであり、地域の生活を支える医療・福祉の需要も高いため |
|--|--|---|---|

問4 ある都市の統計において、第3次産業の就業者割合が約84.5%と非常に高く、65歳以上の高齢者割合も約31.0%に達している場合、その都市の産業特性として考えられる内容を次の中から選びなさい。 (2019年 佐賀県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. 高速道路のインターチェンジ付近に半導体工場などの工業団地が形成されており、製造業に従事する第2次産業の割合が高い。 | 2. 温泉などの観光資源を基盤とした宿泊業・サービス業が産業の主軸となっており、観光に従事する人々が産業の大部分を占めている。 | 3. 平野部において高度に機械化された稲作が行われており、周辺自治体に比べて第1次産業の就業者数が突出している。 | 4. 大都市圏のベッドタウンとして機能しており、都心部へ通勤する会社員が多いため、夜間人口が昼間人口を大きく上回っている。 |
|--|---|--|---|

問5 日本の諸地域の統計において、海岸線の延長が2665kmと非常に長く、かつ隣接する府県の数が「1」となっている県について述べた文として、地理的な背景を踏まえた正しいものはどれですか。 (2022年 熊本県公立入試 類似)

- | | | | |
|---------------------------------------|---|--|--|
| 1. 県全体が広大な平野で構成されており、海に面した部分が多いためである。 | 2. 九州地方の中央部に位置し、周囲を海に囲まれた内陸県のような性質を持つためである。 | 3. リアス海岸が発達しているため、隣接する県の数が極端に少なくなっている。 | 4. 屋久島や奄美群島などの多くの離島を抱えているため、海岸線が長くなっている。 |
|---------------------------------------|---|--|--|

問6 九州地方の南から日本の太平洋側に沿って流れる海流について、低緯度から流れてくる「暖流」であり、周辺地域に冬でも温暖な気候をもたらす特性を持つものの名称はどれですか。 (2024年 徳島県公立入試 類似)

- | | | | |
|----------|-------------|---------|-------------|
| 1. リマン海流 | 2. 黒潮（日本海流） | 3. 対馬海流 | 4. 親潮（千島海流） |
|----------|-------------|---------|-------------|

問7 九州地方では1970年代以降、空港の周辺や高速道路の沿線に、集積回路（IC）などの電子部品を生産する工場が数多く進出しました。これらの工場が、港湾部ではなく内陸の交通の便が良い場所に集まった理由として、最も適切な説明を選びなさい。 (2017年 徳島県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|--|--|---|
| 1. 製品が非常に重く大型であるため、専用の大型車両が走行できる空港直結の特殊な道路が必要だったから | 2. 製造工程で大量の石炭や原油を燃料として消費するため、海外からの資源を直接搬入できる場所が求められたから | 3. 製品が小型で軽量かつ高価であり、航空機やトラックを利用した迅速な輸送が重要視されたから | 4. 広大な土地と大量の工業用水を確保する必要があり、人口の密集する沿岸部を避けて内陸部に集積したから |
|--|--|--|---|

問8 福岡県北九州市周辺の地域では、明治時代に官営の製鉄所が建設された歴史背景を活かしつつ、現在は環境負荷の低減を目指したまちづくりが行われています。このように、廃棄物をゼロにすることを目指してリサイクル工場などが集まった地域のことを何と呼びますか。 (2022年 鹿児島県公立入試 類似)

- | | | | |
|----------|------------|---------|---------|
| 1. エコタウン | 2. スマートシティ | 3. ハブ空港 | 4. 工業団地 |
|----------|------------|---------|---------|

問9 日本の農産物の統計において、茶の生産量は全国第2位（34%）ですが、生産額では全国の31%を占めて第1位（2019年時点）となっている都道府県はどこですか。 (2022年 三重県公立入試 類似)

- | | | | |
|---------|--------|--------|--------|
| 1. 鹿児島県 | 2. 三重県 | 3. 千葉県 | 4. 静岡県 |
|---------|--------|--------|--------|

問10 九州の西側の海上から、長崎県付近を経て日本海側へと北上する海流があります。この海流の名称として正しいものはどれですか。 (2022年 群馬県公立入試 類似)

- | | | | |
|-------------|-------------|----------|---------|
| 1. 親潮（千島海流） | 2. 黒潮（日本海流） | 3. リマン海流 | 4. 対馬海流 |
|-------------|-------------|----------|---------|

問11 九州地方の火山に関連する地理的事象とその影響について、背景や理由を含めた記述として最も適切なものはどれですか。 (2018年 千葉県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. 活火山周辺では噴火による降灰被害を防ぐため、広大なカルデラ内は居住や農業が厳しく制限され、主に無人の発電施設のみが設置されている。 | 2. 火山地帯は地盤が非常に強固であるため、大規模な工業団地や製鉄所の建設に適しており、北九州工業地帯の発展を支える要因となった。 | 3. シラス台地は養分を豊富に含んだ火山灰で構成されているため、肥料を与えずとも高い収穫量が得られることから、九州最大の野菜供給地となっている。 | 4. 火山地帯では地下深くに高温の蒸気や熱水が存在するため、これを取り出してタービンを回す発電方式が、再生可能エネルギーの一つとして活用されている。 |
|--|---|--|--|

問12 九州南部の広範囲に見られる「シラス台地」の土壌の成り立ちと性質について説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2017年 沖縄県公立入試 類似)

- | | | | |
|------------------------------------|------------------------------------|-------------------------------------|----------------------------------|
| 1. 火山の噴出物が積み重なって形成されており、水はけが非常に良い。 | 2. 大昔の貝殻やサンゴが積み重なってできており、アルカリ性が強い。 | 3. 河川が運んできた土砂が堆積してできており、水分を蓄える力が強い。 | 4. 植物の遺骸が分解されずに堆積した泥炭地であり、湿気が多い。 |
|------------------------------------|------------------------------------|-------------------------------------|----------------------------------|